

世界史 B

(解答番号 ~)

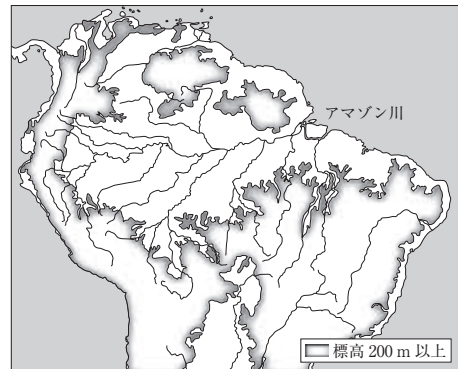
1 次の文章と図版に関連して、問1～問2に答えよ。

高校生の山本さんは、アマゾンの環境保護について関心を持ち、調べた結果を2枚のパネルにまとめて授業で発表した。

パネル1

ブラジルのアマゾン地域

- ・ブラジルは、ラテンアメリカ最大の面積・人口を持つ国である。19世紀に から独立し、現在も 語が主に話されている。
- ・ブラジルのアマゾン地域では、パラゴムノキから採取する天然ゴムが特産である。



パネル2

天然ゴムとアマゾン

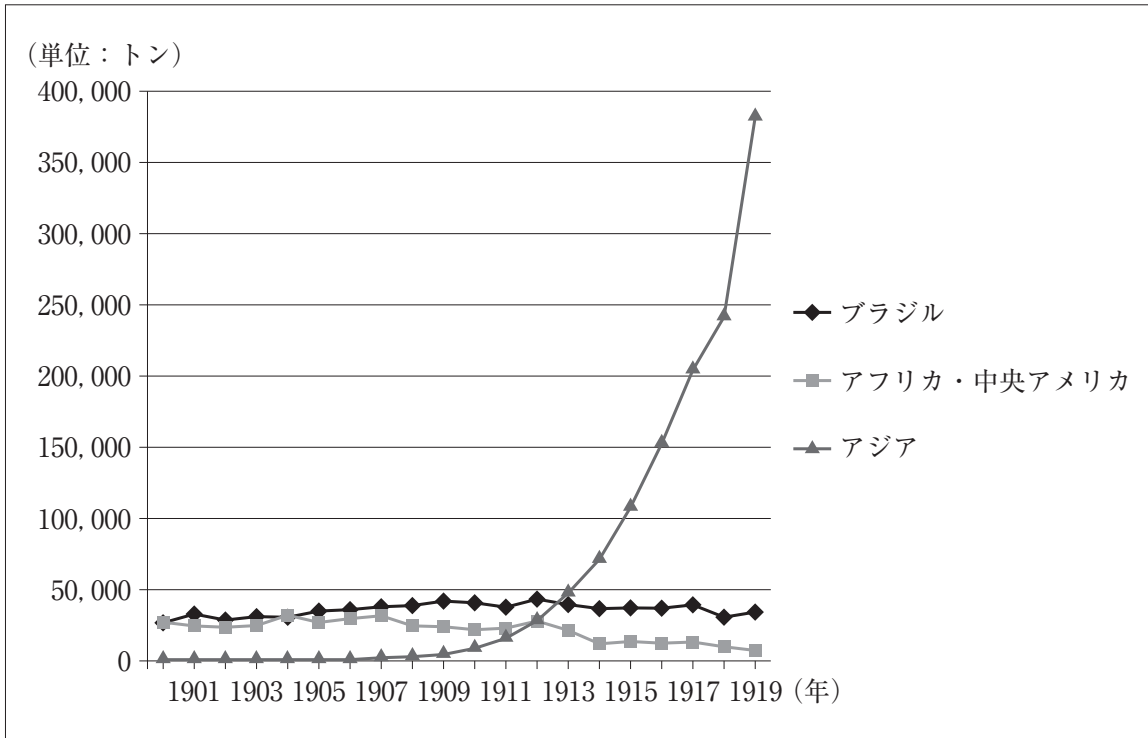
- ・パラゴムノキは熱帯のアマゾン川流域原産の高木で、幹を傷つけたところから流れ出る乳液から天然ゴムが得られる。
- ・ブラジルの天然ゴム産業は、19世紀末から20世紀初めにかけて繁栄したが、^(a)ほどなくアジアに追い越された。^{はがれ}葉枯病による病害や、労働力の不足が原因とされている。
- ・天然ゴムの採取活動は、森林の生態系を破壊することなく行われることから、近年、エコロジーの側面から注目されるようになり、アマゾン各地に採取保護区が設けられている。



問1 に当てはまる語句を、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① イタリア
- ② フランス
- ③ ポルトガル
- ④ 日本

問 2 下線部分 19 世紀末から 20 世紀初めにかけて繁栄したが、ほどなくアジアに追い越された^(a)とあるが、それは、主にイギリスが熱帯の植民地で栽培・生産したためであった。次のグラフから読み取れる、20 世紀初めの世界のゴム生産量の推移の説明として適切なものと、イギリスがゴムの生産を行った植民地との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 2。



グラフ 世界のゴム生産量

	ゴム生産量の推移の説明	イギリスがゴムの生産を行った植民地
①	アジアのゴム生産量は、第一次世界大戦が始まったときには首位に立っていた。	マレー(マラヤ)
②	アジアのゴム生産量は、第一次世界大戦が始まったときには首位に立っていた。	カナダ
③	ブラジルのゴム生産量は、グラフに示した20年間を通して、年5万トンを下回ることはなかった。	マレー(マラヤ)
④	ブラジルのゴム生産量は、グラフに示した20年間を通して、年5万トンを下回ることはなかった。	カナダ

2 1～2の文章と図版に関連して、問1～問8に答えよ。

1 生徒が印章について調べ、資料1～資料4を見ながら、先生と会話をしている。

生徒： 最初に興味を持ったのは、資料1の円筒印章です。左側の円筒状の印を粘土板の上に転がすと、右側のような模様が浮かび上がります。紀元前2600年頃、^(a)メソポタミアで使用されたもののようです。

先生： 転がす印章とはユニークなものを見つけましたね。ところで、資料2は、後漢の初代皇帝である **A** が、倭の小国に与えた「漢委奴国王」の金印に似ていますね。

生徒： はい。資料2は、前漢の武帝が、中国の西南部にあった滇^{てん}国の王に与えた金印です。「漢委奴国王」の金印に、大きさも、蛇をかたどったつまみも、そっくりなのです。

先生： どちらも、漢が周辺の国と君臣関係を結ぶという **B** を行った際に与えたものです。では、資料2の右側の印影を見て、印章のつくり注目してみましょう。私たちが現在よく使う印章は、印面の文字を残して、周りが彫られており、隋・唐代から主流になったタイプです。一方、資料2は、印面の文字の部分が彫り込まれています。なぜ、前漢の時代には、資料2のタイプが使われていたのでしょうか。その背景を、資料3をもとに考えてごらん。

生徒： **C** が背景にあると思います。

先生： よく分かりましたね。最後に、資料4はどんな印章ですか。

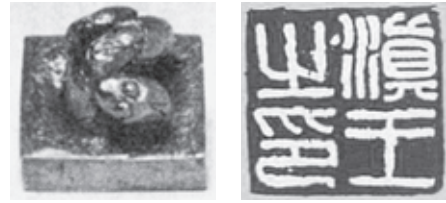
生徒： ^(b)神聖ローマ皇帝のカール4世が発布した「金印勅書」に付けられていた金印です。ヨーロッパの印章は、東アジアのものとは形もデザインもずいぶん違います。

資料 1



円筒印章(左)と、粘土板に押された印影(右)

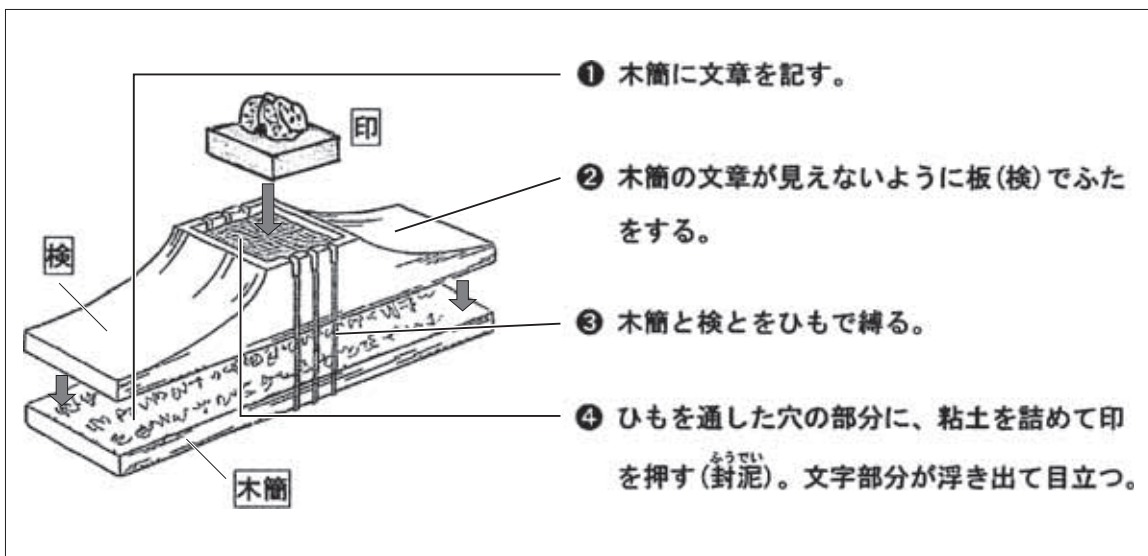
資料 2



「滇王之印」(左)とその印影(右)

B

資料 3



漢の時代における文書に封をする仕方

資料 4



「金印勅書」(1356年)に付けられていた金印

問 1 下線部分^(a)メソポタミアで栄えた古代文明において、粘土板に刻んで使用された文字を、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **3**。

- ① 楔形文字
- ② 甲骨文字
- ③ 神聖文字(ヒエログリフ)
- ④ 訓民正音(ハングル)

問 2 **A** に当てはまる人物を、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **4**。

- ① 始皇帝
- ② 光武帝
- ③ 冒頓単于
- ④ ヌルハチ

問 3 **B** に当てはまる語句と、**C** に当てはまる文との組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **5**。

	B	C
①	囲い込み	活版印刷術が改良され、紙の文書の大量印刷が可能になったこと
②	囲い込み	製紙法が改良されておらず、紙が普及していなかったこと
③	冊 封	活版印刷術が改良され、紙の文書の大量印刷が可能になったこと
④	冊 封	製紙法が改良されておらず、紙が普及していなかったこと

問 4 下線部分^(b)神聖ローマ皇帝について述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **6**。

- ① イヴァン 3 世が、ツァーリの称号を名乗った。
- ② コンスタンティヌス帝が、キリスト教を公認した。
- ③ ローマ教皇との間に、聖職叙任権をめぐる闘争をおこした。
- ④ マムルークとよばれる奴隷兵を重用した。

2 生徒が署名について調べ、資料5～資料7を見ながら、先生と会話をしている。

生徒： 面白いデザインの署名を集めてみました。資料5の矢印部分は、元寇の際の鎌倉幕府執権として知られる北条時宗の花押です。名の「時」の字をデザイン化したものです。

先生： 現代の日本でも、総理大臣や国務大臣は自分の花押を持っていて、署名の代わりに記すのですよ。ところで、資料6も独特なデザインですが、これはトゥグラですね。

生徒： はい。トゥグラはオスマン帝国のスルタンが使用した花押のようなものです。資料6は、14世紀にビザンツ帝国と戦い、バルカン半島に進出したスルタンのトゥグラです。

先生： 後世には、もっと繊細で美しい装飾が施されたトゥグラを見られますよ。さて、資料7の矢印部分は、ヨーロッパで使われているアルファベットですね。誰のサインですか。

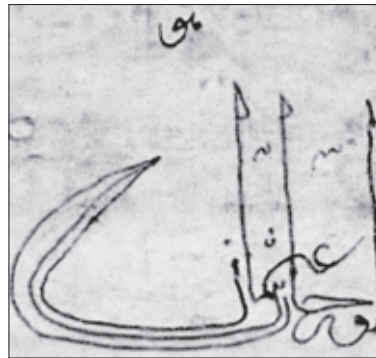
生徒： ジャンヌ＝ダルクの直筆といわれています。これを見たとき、感慨深くなりました。

資料5



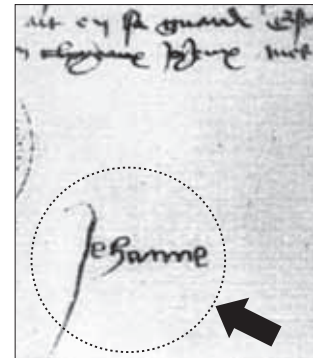
北条時宗の花押

資料6



オルハンのトゥグラ

資料7



ジャンヌ＝ダルクのサイン

問5 下線部分元寇に関して、日本遠征を行った元について述べた文として適切なものを、次の

①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① サラディン(サラーフ＝アッディーン)が建国した。
- ② 安史の乱を機に、中央政府の力が弱まった。
- ③ ゴロアスター教を国教とした。
- ④ イスラームの天文学を取り入れた授時暦がつくられた。

問 6 下線部分^(d)ビザンツ帝国について述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① ユスティニアヌス帝の時代に、領土を拡大した。
- ② 統治制度として、郡県制を採用した。
- ③ ハンザ同盟の盟主であった。
- ④ アンコール=ワットが建造された。

問 7 下線部分^(e)アラビア文字で記されたイスラーム教の聖典と、下線部分^(f)ヨーロッパで使われているアルファベットの起源となる文字をつくった民族との組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

	聖典	民族
①	『コーラン(クルアーン)』	チベット人
②	『コーラン(クルアーン)』	フェニキア人
③	『リグ=ヴェーダ』	チベット人
④	『リグ=ヴェーダ』	フェニキア人

問 8 下線部分^(g)ジャンヌ=ダルクが活躍した戦争を、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① ペロポネソス戦争
- ② フレンチ=インディアン戦争
- ③ 百年戦争
- ④ 北方戦争

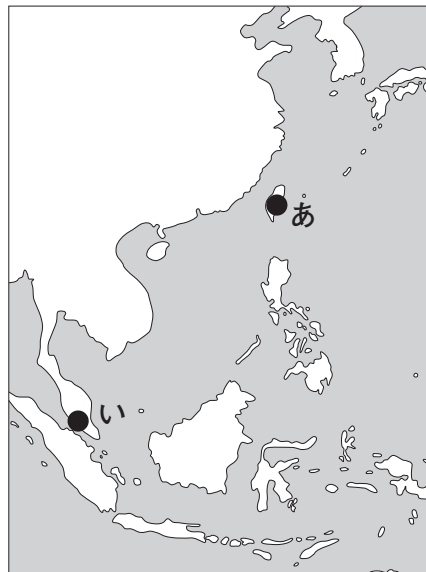
3 1～2の文章と図版に関連して、問1～問5に答えよ。

1 トメ＝ピレスは、ポルトガルが初めて中国に派遣した大使で、1511年にリスボンを出発した。1512年にはマラッカ^(a)、1517年には広州に到着し、上陸を許されて、北京へ向かった。しかし、明の皇帝への謁見は実現できなかった。彼がマラッカ滞在中に書いたと思われる『東方諸国記』^(b)には、マラッカや琉球など、各地のようすが記されている。次の資料1は、その一節である。

資料1

レケオ(琉球)人はゴーレスとよばれる。…彼らはシナ(中国)に渡航して、マラカ(マラッカ)からシナにきた商品を持ち帰る。彼らはジャンポン(日本)へ赴^{おもむ}く。…彼らはそこで、この島にある黄金と銅とを商品と交換に買い入れる。…

問1 下線部分マラッカ^(a)の略地図中のおよその位置と、資料1から読み取ることができる内容との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 11。



	位置	内容
①	あ	琉球では、黄金と銅が産出されていた。
②	あ	琉球人は、中継貿易を行っていた。
③	い	琉球では、黄金と銅が産出されていた。
④	い	琉球人は、中継貿易を行っていた。

問 2 下線部分明^(b)に関して、次の資料 2 に記された政策として適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

資料 2

洪武 14 年、…。百十戸を一里として、成人男子数と納税額の多いもの十戸を推薦して長として、残りの百戸を十の甲(グループ)に分けた。

- ① 第 1 次国共合作を行った。
- ② 里甲制を実施した。
- ③ 審査法を制定した。
- ④ 全権委任法を制定した。

B

2 青木さんは、世界史の勉強をしていて気になったことをカード1～カード3にまとめた。

カード1

スレイマン1世の下で最盛期を迎えたオスマン帝国は、1538年に **A** の海戦で、スペインやヴェネツィアなどの連合艦隊を破り、地中海の制海権を手中にした。オスマン帝国はその後どのような外交政策をとったのだろうか。

カード2

ムガル帝国成立後、ヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の融和が進んだ。このことは、ウルドゥー語の成立やムガル絵画にもみられる。長年にわたって対立していた両者が融和できたのには、どのようなことがあったのだろうか。

カード3

七年戦争に当たって、オーストリアは、宿敵であった **B** と同盟を結んで、プロイセンと戦った。この時オーストリアは、なぜ長い間対立関係にあった国と同盟を結んだのだろうか。

問3 下線部分オスマン帝国の16世紀の外交政策に関する説明と、**A** に当てはまる語句との組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **13** 。

	外交政策	A
①	ハプスブルク家に対抗し、フランスにカピチュレーションを与えた。	ミッドウエー
②	ハプスブルク家に対抗し、フランスにカピチュレーションを与えた。	プレヴェザ
③	ミュンヘン会談を開催し、宥和政策をとった。	ミッドウエー
④	ミュンヘン会談を開催し、宥和政策をとった。	プレヴェザ

問 4 下線部分^(d)ヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の融和を進めた政策として適切なものを、次の

①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 人頭税(ジズヤ)を廃止した。
- ② 新経済政策(ネップ)をとった。
- ③ イエズス会を結成した。
- ④ 護民官の制度を設けた。

B

問 5 下線部分^(e)オーストリアが と同盟を結んだ理由と、 に当てはまる語句との

組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

	理 由	<input type="text" value="B"/>
①	ボストン茶会事件に対処するため	フランス
②	ボストン茶会事件に対処するため	イタリア
③	シュレジエンを奪回するため	フランス
④	シュレジエンを奪回するため	イタリア

4 1～2の文章と図版に関連して、問1～問4に答えよ。

1 生徒と先生が、次の資料を見ながら会話している。

資料

余(フェルディナント1世)…は、いまや、余の忠実なる諸民族の願望を実現するために余が必要と認めた諸指令を下した。出版の自由は、検閲を廃止する余の布告によって…認可された。…余の決定した祖国の憲法(制定)を目的として、…必要な措置をとった。

先生： これはオーストリア皇帝フェルディナント1世が、1848年のウィーン三月革命の時に出した文書です。これをみたウィーンの民衆は熱狂したようです。^(a)

生徒： この資料を読むと、民衆が望んでいた **A** が約束されたように感じます。

先生： この資料からは、そう読み取れますね。しかし実際には、皇帝は議会を召集しませんでした。また、発布された選挙法でも労働者には選挙権が認められませんでした。

生徒： 労働者は反発しませんでしたか。^(b)

先生： 労働者や学生の大規模なデモがおこり、一時は皇帝が逃亡を余儀なくされました。しかし最終的には、皇帝はウィーンに戻り、革命勢力は弾圧されました。



ウィーン三月革命で皇帝が出した文書

問 1 下線部分^(a)ウィーン三月革命によって亡命したオーストリア宰相と、A に当てはめた時に適切な内容となる語句との組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 16。

	宰 相	A
①	ソクラテス	憲法の制定
②	ソクラテス	国際連盟への参加
③	メッテルニヒ	憲法の制定
④	メッテルニヒ	国際連盟への参加

問 2 下線部分^(b)労働者が中心になっておこした 19 世紀の出来事について述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 17。

- ① イベリア半島で、レコンキスタ(国土回復運動)が行われた。
- ② 中国で、典札問題がおこった。
- ③ イタリアで、ローマ進軍が行われた。
- ④ イギリスで、チャーティスト運動がおこった。

2 榎本さんは、「B に対する諸地域の対応」をテーマに調べ学習を行い、次のレポートを作成した。

B に対する諸地域の対応

(1) 反乱による抵抗

新式銃の導入をきっかけに東インド会社のインド人傭兵がおこした暴動は、様々な人が加わってインド大反乱^(c)となった。取りつぶされた藩王国の旧支配層や、貧しい民衆も参加した。しかし、反乱軍の足並みの乱れもあり、最終的には鎮圧された。



インド大反乱

(2) 改革による富国強兵

ムハンマド＝アリーは、エジプトで実権を握ると、外国の援助を受けながら、近代化改革^(d)を行った。政治的には中央集権化を進め、軍も徴兵制を導入した。綿花栽培を奨励し、綿織物などの国営工場をつくって産業の育成も試みた。



ムハンマド＝アリー

- 問 3 に当てはめた時に適切となる語句と、下線部分^(c)東インド会社のインド人傭兵の名称との組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。
 解答番号は 。

	<input type="text" value="B"/>	名 称
①	ヨーロッパ列強の進出	シパーヒー(セポイ)
②	ヨーロッパ列強の進出	バルバロイ
③	モンゴル帝国の進出	シパーヒー(セポイ)
④	モンゴル帝国の進出	バルバロイ

- 問 4 下線部分^(d)エジプトの 19 世紀のようすについて述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。
- ① クローヴィスが、アタナシウス派に改宗した。
 - ② ウラービー(オラービー)の乱がおこった。
 - ③ ファラオが、巨大なピラミッドを築いた。
 - ④ アンボイナ事件がおこった。

B

5 1～2の文章と図版に関連して、問1～問6に答えよ。

1 生徒と先生が、資料1・資料2を見ながら会話している。

先生： 19世紀後半に入ると、第2次産業革命(a)がおり、資本主義経済が発展しました。アメリカ合衆国は労働力不足を補うため、多くの海外移民を受け入れました。資料1からはその流入量のピークなどが読み取れます。では、資料2からどんなことが読み取れますか。

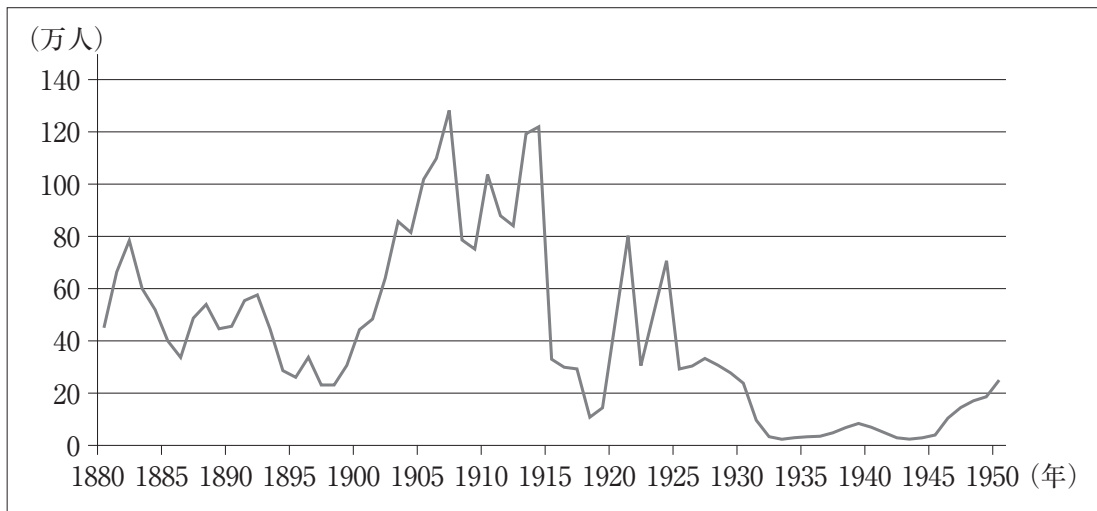
生徒： 資料2で、1891～1900年の10年間と、移民流入のピークを含む1901～10年の10年間を比べると、**A**ことがわかります。

先生： では1931～40年の10年間で、移民の流入総数が大きく減少していますが、その原因として考えられることは何でしょうか。

生徒： 1929年の株価大暴落をきっかけに**B**が発生したことにより、失業者数が増加したと習いました。1931～40年の移民流入数の減少は、移民を受け入れる余裕がなかったことが原因ではないでしょうか。

先生： なるほど。そもそも移民数の増減に関する原因にはどのようなものがあるでしょうか。

生徒： うーん、この資料だけではわからないので、補う資料を探してみます。
(b)



資料1 アメリカ合衆国への移民の推移

	1881～90年	1891～1900年	1901～10年	1911～20年	1921～30年	1931～40年	1941～50年
ヨーロッパ	4,735,484	3,555,352	8,056,040	4,321,887	2,463,194	347,566	621,147
アジア	69,942	74,862	323,543	247,236	112,059	16,595	37,028
米州	426,967	38,972	361,888	1,142,671	1,516,716	160,037	354,804

資料2 ヨーロッパ・アジア・米州(アメリカ合衆国を除く南北アメリカ大陸)からのアメリカ合衆国への移民の推移(単位：人)

問 1 下線部分^(a)第2次産業革命について、中心となった産業と、その主な動力源との組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 20。

	中心となった産業	主な動力源
①	重化学工業	石油と電力
②	重化学工業	原子力
③	軽工業	石油と電力
④	軽工業	原子力

問 2 A に当てはまる文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 21。

- ① ヨーロッパからの移民数だけが、増加している
- ② アジアからの移民数だけが、増加している
- ③ 米州からの移民の流入数が、10倍以上になっている
- ④ どの地域からも、移民の流入数が増加している

問 3 B に当てはまる語句を、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 22。

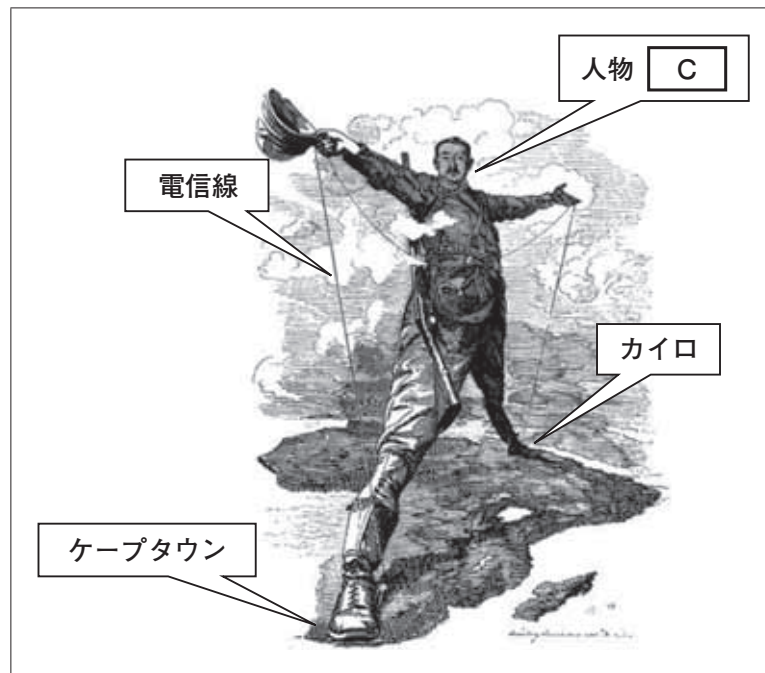
- ① キューバ危機
- ② キリスト教会の東西分裂
- ③ 世界恐慌
- ④ 9.11 同時多発テロ

問 4 下線部分^(b)補う資料について、資料1・資料2に示されているような変化がおきた原因を考察するために役立つ資料として適切でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 23。

- ① イギリスが中国に密輸したアヘンの流入量を示したグラフ
- ② アメリカ合衆国の、景気の変動を示したグラフ
- ③ ヨーロッパ・アジア・米州ごとの、歴史的な出来事をまとめた年表
- ④ アメリカ合衆国政府の、移民に関する法令の条文

2 帝国主義の時代は、情報化の先駆けの時代であった。政治や経済、軍事面において主導権を握るためには、海外の情報をいち早く手に入れることが重要であった。そこで、イギリスは電信線の敷設に注力し、1887年時点で世界に敷設されていた総距離21万kmの電信網のうち、70%はイギリス資本によるもので、1902年には、世界一周の電信網を構築することに成功している。

図の風刺画では、ケープ植民地首相の **C** が、カイロとケープタウンを電信で結んでいるようすが描かれている。この電信網は、当時イギリスが推し進めていた **D** において重要な役割を担った。また、他国の電信もロンドンを経由するため、イギリスがその内容を傍受することが可能であり、このことは第一次世界大戦でイギリスに有利に働いた。最盛期には全世界のおよそ4分の1の人口と陸地を支配した大英帝国を下支えしたのは、この卓越した情報網だったといえるだろう。



図

問 5 に当てはまる人物と, に当てはまる語句との組合せとして正しいものを, 次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

	<input type="text" value="C"/>	<input type="text" value="D"/>
①	モンテスキュー	3 C 政策
②	モンテスキュー	封じ込め政策
③	セシル＝ローズ	3 C 政策
④	セシル＝ローズ	封じ込め政策

問 6 下線部分^(c)第一次世界大戦中におこった出来事として適切なものを, 次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① イギリスで, ワット＝タイラーの乱がおこった。
- ② ドイツが, 無制限潜水艦作戦を実施した。
- ③ マーストリヒト条約が結ばれた。
- ④ ソ連で, ペレストロイカとよばれる改革が行われた。

B

6 1～2の文章と図版に関連して、問1～問5に答えよ。

1 サミットは、1975年に、主要先進諸国が協調して国際的課題に取り組む必要性が共有されて、初めて開かれた。この第1回サミットが開催された後、参加国が持ち回りで議長国となつて、毎年世界各地で行われるようになった。次の写真は、2000年に日本で行われた九州・沖縄サミットの時のものである。左から4番目の人物は、アメリカ合衆国のクリントン大統領で、在任期間8年間の最後の年に出席した時のようすである。また、左から3番目のプーチン大統領は、冷戦終結後にサミット参加国となった **A** の首脳である。 **A** が2014年にクリミア併合を行うと、参加資格が停止された。



各国首脳による記念写真(2000年7月)

問1 下線部分主要先進諸国が協調して国際的課題に取り組む必要性に関連して、第1回サミットが開催されることになった背景として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は **26** 。

- ① アジア通貨危機がおこった。
- ② ポエニ戦争がおこった。
- ③ 黒死病(ペスト)が流行した。
- ④ 第1次石油危機がおこった。

問 2 下線部分クリントンの仲介によって、イスラエルと暫定自治協定を結んだPLO(パレスチナ解放機構)^(b)の議長を、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 27。



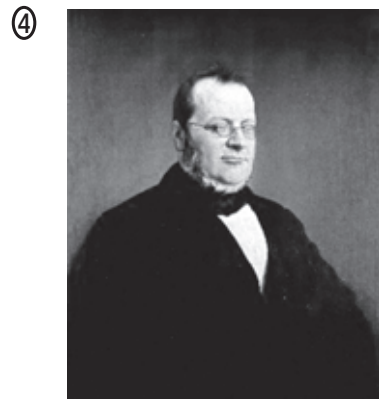
オバマ



アラファト



トマス＝アキナス



カヴァール

問 3 A に当てはまる国を、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 28。

- | | |
|-----------|--------|
| ① ベトナム | ② ロシア |
| ③ 中華人民共和国 | ④ メキシコ |

B

2 高校生の平尾さんは、国際連合について調べ、次のカード1～カード3を作成した。

カード1

1945年2月に行われたヤルタ会談で、戦後の国際秩序が話し合われた。これに基づき、戦後、国連では、アメリカ合衆国・イギリス・ソ連・フランス・中華民国が **B** を持つこととなった。

カード2

朝鮮戦争中に開催されたサンフランシスコ講和会議で、日本は独立を回復した。その後の日本の国連への加盟申請に対し、当初ソ連は **B** を発動して反対したが、日ソ共同宣言に調印したため、日本の国連加盟が実現した。

カード3

国連の発足時の加盟国は、51カ国だった。その後、植民地であった地域が独立して、国連に加盟するなどして、加盟国数は徐々に増えた。オランダとの戦争を経て、1949年に独立したインドネシアも1950年、国連に加盟した。
(c)

問4 **B** に当てはまる語句と、次の年表中の日本が国際連合に加盟した時期との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **29**。

1945	国際連合憲章採択、国際連合発足
	あ ↑↓
1951	日米安全保障条約締結
	い ↑↓
1972	日中国交正常化

	B	日本が国際連合に加盟した時期
①	拒否権	あ
②	拒否権	い
③	不輸不入権	あ
④	不輸不入権	い

問 5 下線部分^(c)インドネシアの 20 世紀のようすについて述べた文として適切なものを、次の

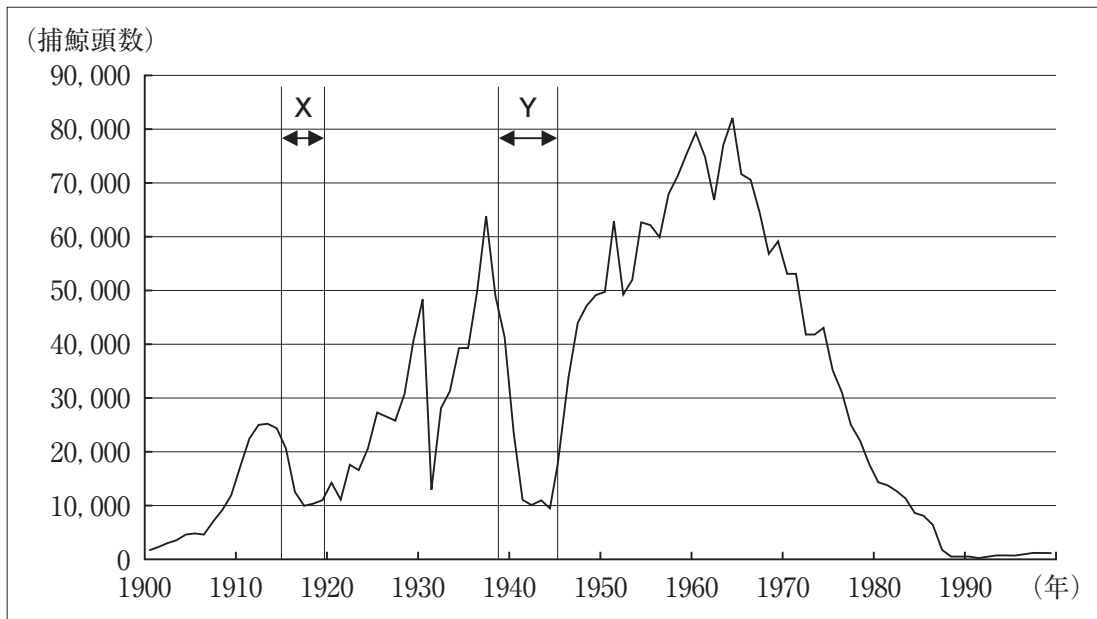
①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 30。

- ① ダライ = ラマ 14 世が、インドへ亡命した。
- ② 鄭和の遠征隊が訪れた。
- ③ ポル = ポトによる独裁政権が成立した。
- ④ スカルノが、大統領に就任した。

B

7 次の文章と図版に関連して、問1～問2に答えよ。

捕鯨は、鯨肉や鯨油を求めて、先史時代から世界各地で行われてきた。18世紀にはアメリカ合衆国が太平洋での捕鯨を行うようになり、19世紀には太平洋全域に進出した。しかし、当時の蒸気船では十分な燃料や食料を積み込むことができなかった。そのため、ペリーが日本と締結した **A** は、このような捕鯨船への燃料・食料・水の供給を日本が行うことを目的の一つとしていた。19世紀以降は捕鯨技術の革新により、捕鯨頭数は増え続けた。20世紀に入っても、^(a) 数度の落ち込みはあったものの1960年代半ばまで捕鯨頭数は伸び続けたため、クジラの数が減少した。このような状況を受けて、1948年に国際捕鯨委員会(IWC)が捕鯨規制のために設置され、日本も1951年に加入した。日本は、1988年以来、科学的調査である調査捕鯨のみを行っていたが、2019年にIWCを脱退し、商業捕鯨を再開した。日本が今後も水産資源を保持し、持続的に捕鯨を行うことができるように考えていくことは重要な課題である。



グラフ 20世紀の世界の捕鯨頭数の推移

問1 **A** に当てはまる語句を、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **31** 。

- ① ポーツマス条約
- ② 下関条約
- ③ 九カ国条約
- ④ 日米和親条約

問 2 下線部分^(a) 20世紀に入っても、数度の落ち込みはあったものの1960年代半ばまで捕鯨頭数は伸び続けたとあるが、グラフ中のXとYの時期の捕鯨頭数の落ち込みとその要因と考えられる世界の情勢について述べた次の(ア)・(イ)の正誤を判断し、その組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 32。

(ア) Xの時期の捕鯨頭数の落ち込みは、ビキニ環礁での水爆実験が要因と考えられる。

(イ) Yの時期の捕鯨頭数の落ち込みは、第二次世界大戦が要因と考えられる。

① (ア)―正 (イ)―正

② (ア)―正 (イ)―誤

③ (ア)―誤 (イ)―正

④ (ア)―誤 (イ)―誤

B

